

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-141	A-152	14-085
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門		
題名 (原題/訳)		
Alcohol-related risk of suicidal ideation, suicide attempt, and completed suicide: a meta-analysis. 自殺念慮、自殺企図、自殺完遂に関するアルコール関連リスク：メタ分析		
執筆者		
Darvishi N, Farhadi M, Haghtalab T, Poorolajal J.		
掲載誌		
PLoS One. 2015;10(5):e0126870. doi: 10.1371/journal.pone.0126870.		
キーワード		PMID
自殺、自殺念慮、自殺企図、メタ分析		25993344
要 旨		
目的： 飲酒障害（アルコール依存症、アルコール依存、アルコール濫用、多量飲酒、問題飲酒等）と自殺念慮、自殺企図、自殺完遂との関連についての報告は一定しないため、過去の研究のメタ分析を行った。		
方法： 2015年2月までの論文をPubMed, Web of Science, Scopusを用いて検索した。Psycinfo websiteと雑誌も検索し、著者にもコンタクトした。飲酒障害と自殺の関連を検討した観察研究（コホート研究、症例対照研究、横断研究）を採用した。主要アウトカムは自殺念慮、自殺企図、自殺完遂とした。Q-testとI ² 統計量にて不均一性（heterogeneity）を検証した。Egger's and Begg's testとfunnel plotを用いて出版バイアスを検討した。メタ分析はランダム効果モデルで行った。各アウトカムについてオッズ比、リスク比と95%信頼区間を算出した。		
結果： ヒットした8,548研究のうち31研究（対象者計420,732人）を採用した。飲酒障害は自殺念慮（オッズ比1.86）、自殺企図（オッズ比3.13）、自殺完遂（オッズ比2.59、リスク比1.74）と有意に関連した。有意な不均一性はあったが、出版バイアスはほとんどなかった。		
結論： 飲酒障害が自殺念慮、自殺企図、自殺完遂のリスクを有意に上昇させる十分なエビデンスがあった。		